

【国立能楽堂特別企画公演】

# 能狂言を 再発見 する

令和4年  
3月25日(金)・26日(土)  
午後1時開演

おはなし

小田 幸子  
(能狂言研究家)

天野 文雄  
(京都芸術大学舞台芸術研究センター所長)

「天正狂言本」と古画による

狂言

袴 裂

野村又三郎

復曲能

岩 船

大槻 文藏 [25日]

梅若 紀彰

観世 喜正 [26日]



主催＝独立行政法人日本芸術文化振興会

予約開始 ◆ 2月8日(火) 午前10時 窓口販売開始 ◆ 2月9日(水) チケット売場 午前10時～午後6時 \*窓口販売用には別枠でのお取り置きはございません。  
電 話 ◆ 国立劇場チケットセンター 0570(07)96000 [www.nct.or.jp](https://www.nct.or.jp) (一部IP電話) (午前10時～午後6時)  
インターネット ◆ 国立劇場チケットセンター 検索 プレイガイド チケットのみ <https://t.pia.jp/> ぴあnet <https://eplus.jp/>  
入場料金 ◆ 正面6800円・脇正面5700円・中正面4700円/学生:脇正面4000円・中正面3300円  
※字幕表示がございます(日本語・英語)。 ※障害者の方は2割引です。車椅子などの詳細についてはチケットセンターまでお問い合わせください。 ※出演者などの変更の場合はご了承ください。



今回の公演を特別映像でご紹介!  
左記のウェブサイトよりご覧ください。



新型コロナウイルス感染症予防の対策に、ご理解とご協力をお願いいたします。  
詳細はホームページをご覧ください。



国立能楽堂

【国立能楽堂特別企画公演】

# 能狂言を再発見する

二人はかま



「山脇流狂言図三帖の内 二人はかま」  
徳川美術館所蔵 © 徳川美術館イメージアーカイブ / DNPpartcom

作品の演出や解釈を新たな視点で捉える「再発見する」シリーズ。平成24年のスタート以来、能を中心に上演してきましたが、今回は狂言にも枠を拡げ、「天正狂言本」所収の「袴裂」を、古い狂言絵の演出を取り入れて上演します。能は「岩船」をご覧ください。観世流では通常演じられない前場を復元、また後場には女神・天探女が天の岩船に乗って登場し、その船を龍神が牽引して住吉の浦に着岸させるという新たな見どころもあります。令和2年3月に中止となりました公演を、一部変更して開催いたします。能楽堂にて、作品の世界に浸っていただくひとときを過ごしていただければ幸いです。

## 狂言 — 袴裂

現存する最古の狂言台本「天正狂言本」だけに伝わる「はかまさき（袴裂）」は、現行狂言「二人袴」の古形と考えられています。大まかな粗筋しか書かれていません。本作では、江戸時代の狂言絵を参照しつつ、新たな解釈も加えながら現代によみがえらせます。結婚後に夫が妻の実家を初めて訪れる「簪入り」にまつわる失敗譚は、近世には簪の失態を描くのが典型となりましたが、本作では舅の粗相が主題となります。

予定より早く簪入りにやって来た舅。舅はあいにく手元に袴がなく、太郎冠者の袴を借りて面会しますが、太郎冠者と一緒に出てくるよういわれ、「二人袴」では袴は真二つに破れますが、今回の「袴裂」では狂言絵を参考に、袴は「か所」だけが裂け、舅と太郎冠者は独特の動きを見せます。

## 復曲能 — 岩船

浜の市（宝の市）が開かれて住吉の浦（津守の浦）を訪れた勅使の前に、唐人ふうの不思議な女が現れ、勅使に宝珠を捧げ、自分は昔この浦に岩船を漕ぎ寄せた天探女であると明かして姿を消します。やがて天探女が龍神の引く岩船に乗って天から現れて数々の宝をもたらし、国の繁栄が約束されます。

金銀珠玉の捧げものが住吉の市に降りくると、祝意に満ちた曲です。今回は最古の謡本である観世元頼本などを参考に、作品の古形に迫ります。観世流では通常演じられない前場が復元され、さらに後場には、現行諸流の「岩船」には登場しない天探女が喜見城の宝を満載した岩船に乗って現れ、大君への捧げものを住吉の浦に積みあげます。

令和4年  
**3月25日** 金  
午後1時開演

おはなし 小田 幸子  
（能狂言研究家）

天野 文雄  
（京都芸術大学舞台芸術研究センター所長）

「天正狂言本」と古画による

### 狂言 袴裂

シテ/男 野村 又三郎  
アド/太郎冠者 奥津 健太郎  
アド/智 奥津 健一郎  
文芸||小田 幸子

### 復曲能 岩船

天探女 大槻 文藏  
龍神 大槻 裕一  
臣下 福王 和幸  
隨臣 村瀬 昌提  
隨臣 矢野 昌平  
浦人 山本 凜太郎  
笛 杉 信太郎  
小鼓 大倉 源次郎  
大鼓 亀井 広忠  
太鼓 大川 典良  
後見 赤松 禎友  
永島 充  
武富 康之  
川口 晃平 内藤 幸雄  
坂口 貴信 馬野 正基  
谷本 健吾 山崎 正道  
坂 真太郎 鈴木 啓吾  
監修||天野 文雄  
梅若 実  
福王茂十郎  
終演予定午後4時頃

令和4年  
**3月26日** 土  
午後1時開演

おはなし 小田 幸子  
（能狂言研究家）

天野 文雄  
（京都芸術大学舞台芸術研究センター所長）

「天正狂言本」と古画による

### 狂言 袴裂

シテ/男 野村 又三郎  
アド/太郎冠者 野口 隆行  
アド/智 野村 信朗  
文芸||小田 幸子

### 復曲能 岩船

龍神 梅若 紀彰  
天探女 観世 喜正  
臣下 角当 直隆  
隨臣 福王 茂十郎  
隨臣 福王 和幸  
浦人 山本 凜太郎  
笛 杉 信太郎  
小鼓 大倉 源次郎  
大鼓 亀井 広忠  
太鼓 大川 典良  
後見 小田切 康陽  
永島 充  
松山 隆之  
川口 晃平 内藤 幸雄  
坂口 貴信 馬野 正基  
谷本 健吾 山崎 正道  
坂 真太郎 鈴木 啓吾  
監修||天野 文雄  
梅若 実  
福王茂十郎  
終演予定午後4時頃



- JR(中央・総武線) 千駄ヶ谷駅(エレベーター・エスカレーターあり)下車 徒歩5分
- 都営地下鉄(大江戸線) 国立競技場駅下車A4出口(エスカレーターあり) 徒歩5分
- 東京メトロ(副都心線) 北参道駅下車出口1(エレベーター・エスカレーターあり)または2(エスカレーターあり) 徒歩7分
- 都バス 早81(渋谷-早大正門)千駄ヶ谷駅前下車 徒歩5分 黒77(目黒-千駄ヶ谷駅前)千駄ヶ谷駅前下車 徒歩5分
- ハチ公バス 神宮の杜ルート 国立能楽堂下車すぐ

※駐車場がございませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

# 国立能楽堂

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1  
TEL 03-3423-1331(代)  
URL <https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>